

IBM Cloud UrbanCode Deploy

ご利用条件(以下「ToU」といいます。)は、本「IBM ご利用条件 – SaaS 特定オフリング条件」(以下「SaaS 特定オフリング条件」といいます。)、および以下の Web サイトでご覧いただける「IBM ご利用条件 – 一般条件」(以下「一般条件」といいます。)で構成されています (URL:<http://www.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/sla/tou-gen-terms/>)。

「SaaS 特定オフリング条件」と「一般条件」の規定に矛盾がある場合、「SaaS 特定オフリング条件」が優先して適用されるものとします。「IBM SaaS」の注文、そのアクセスまたは利用により、お客様は「ToU」に同意したものとみなされます。

「ToU」には、「IBM パスポート・アドバンテージのご契約条件」、「IBM パスポート・アドバンテージ・エクスペリエンスのご契約条件」、または「IBM SaaS 特定オフリングのご契約条件」のうち該当する契約条件(以下「本契約」といいます。)が適用され、これらと「ToU」を合わせて完全な合意として成立します。

1. IBM SaaS

以下の「IBM SaaS」オフリングに、これらの「SaaS 特定オフリング条件」が適用されます。

- IBM Cloud UrbanCode Deploy Server
- IBM Cloud UrbanCode Deploy Connection (non-System z)
- IBM Cloud UrbanCode Deploy Connection for System z Workloads
- IBM Cloud UrbanCode Deploy Environment
- IBM Cloud UrbanCode Deploy Server Services
- VPN Secure Tunnel
- IBM Cloud UrbanCode Deploy Relay
- IBM Cloud UrbanCode Deploy Connection Services

2. 課金単位

「IBM SaaS」は、「取引文書」で規定された以下の課金単位のいずれかに従って販売されます。

- 「インスタンス」**は、「IBM SaaS」を取得する際の課金単位です。「インスタンス」とは、「IBM SaaS」の特定の構成へのアクセスを意味します。お客様の「証書 (PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中にアクセスおよび利用することが可能な「IBM SaaS」の「インスタンス」ごとに十分な使用許諾を取得しなければならないものとします。
- 「コネクション」**は、「IBM SaaS」を取得する際の課金単位です。「コネクション」とは、「IBM SaaS」に対するデータベース、アプリケーション、サーバー、またはその他のタイプのデバイスのリンクまたは関連付けです。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中に「IBM SaaS」に接続しているか、または接続する「コネクション」の総数をカバーするのに十分な使用許諾を取得しなければならないものとします。
本「IBM SaaS」において、エージェントは「コネクション」と見なされます。
- 「アイテム」**は、「IBM SaaS」を取得する際の課金単位です。「アイテム」とは、「IBM SaaS」が処理、管理する、または「IBM SaaS」の利用に関連する特定のアイテムが 1 回発生することをいいます。お客様の「PoE」または「取引文書」に規定されている課金期間中、「IBM SaaS」が処理、管理する、または「IBM SaaS」の利用に関連する各「アイテム」をカバーするのに十分な使用許諾を取得しなければならないものとします。

3. 料金および課金

「IBM SaaS」に対する料金は、「取引文書」に記載されます。

3.1 セットアップ料金

セットアップ料金は、「取引文書」に記載されます。

3.2 1か月に満たない期間の料金

「取引文書」に記載された1か月に満たない期間の料金は、按分にて算定される場合があります。

4. 期間および更新オプション

「IBM SaaS」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「IBM SaaS」へのお客様のアクセスについて、IBMがお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「IBM SaaS」が自動的に更新されるか、継続利用ベースで続行されるか、期間満了時に終了するかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の少なくとも90日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「IBM SaaS」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。

継続利用の場合は、「IBM SaaS」は、お客様が90日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「IBM SaaS」は、かかる90日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

5. テクニカル・サポート

「IBM SaaS」に対するテクニカル・サポートは、電話、電子メール、オンライン・フォーラム、およびeサポートのツールを介して提供されます。IBMがかかるテクニカル・サポートの一環として提供する拡張、更新、およびその他資料は、「IBM SaaS」の一部とみなされ、本「ToU」が適用されるものとします。テクニカル・サポートは「IBM SaaS」に含まれ、別個のオフリングとして提供されるものではありません。利用可能時間、電子メール・アドレス、オンライン問題報告システム、およびその他のテクニカル・サポートに関するご利用方法や手順に関する詳しい情報は、IBM Software as a Service (SaaS) Support Handbookに記載されています。

6. 追加条件

6.1 Derived Benefit Locations

該当する場合、お客様が「IBM SaaS」に関する利益を享受しているとお客様が特定する所在地の税金が適用されます。IBMは、お客様がIBMに追加情報を提供する場合を除き、「IBM SaaS」の注文時に主要なBenefit Locationとして記載した事業所住所に基づいて税金を適用します。お客様は、当該情報を最新状態に保ち、変更があった場合にはIBMに通知する責任を負うものとします。

6.2 Secure VPN Tunnel Network

IBMは、VPN Secure Tunnelに関連する外部のお客様サイトに所在するネットワーク装置については、その監視および管理の責任を負いません。お客様は、サーバーの追加に関連するサイト間VPNに対する変更についても責任を負います。

6.3 共通事項

お客様は、IBMが広報活動またはマーケティングのコミュニケーションにおいて、お客様を「IBM SaaS」のサブスクリイバーとして公に言及できることに同意します。

別紙 A

1. IBM SaaS の概要 – 必要な構成要素

この IBM Cloud UrbanCode Deploy SaaS オファリングは、以下の主要機能により、アプリケーションの導入自動化機能を提供します。

1.1 IBM Cloud UrbanCode Deploy Server

UrbanCode Deploy Server は、ユーザー・インターフェース、ワークフロー・エンジン、セキュリティ・サービスなどを提供します。サーバーは、ツールの構成、導入の実行、およびレポートの閲覧のために、Web ブラウザーまたはコマンド・ラインによってアクセスすることができます。

1.2 IBM Cloud UrbanCode Deploy Environment

定常状態の稼働における SaaS 環境の健全性および完全性を確実にする、ネットワーク、ハードウェア、オペレーティング・システムに対する環境マネージド・サービス。

1.3 必要なコネクションの使用許諾

System z または System z 以外のコネクションのいずれかの「コネクション」に対するサブスクリプションが必要です。

1.3.1 IBM Cloud UrbanCode Deploy Connection (non-System z)

「コネクション」(「エージェント」とも呼ばれます。)は、リモート・サーバー上で実行される軽量かつステートレスな Java プロセスです。コントローラー・サーバーにより提供される JMS トピックをサブスクライブします。実行するタスクをコントローラーが「エージェント」に対して発行すると、「エージェント」はこのタスクを選択し、適切な命令を実行します。必要に応じて、「エージェント」はコントローラーにより提供される Web サービスを使用して、必要な追加情報を取得するか、または結果を返します。

1.3.2 IBM Cloud UrbanCode Deploy Connection for System z Workloads

「コネクション」(「エージェント」とも呼ばれます。)は、リモート・サーバー上で実行される軽量かつステートレスな Java プロセスです。コントローラー・サーバーにより提供される JMS トピックをサブスクライブします。実行するタスクをコントローラーが「エージェント」に対して発行すると、「エージェント」はこのタスクを選択し、適切な命令を実行します。必要に応じて、「エージェント」はコントローラーにより提供される Web サービスを使用して、必要な追加情報を取得するか、または結果を返します。この「コネクション」/「エージェント」は、z Systems への展開目的専用です。

2. オプション・サービス

2.1 IBM Cloud UrbanCode Deploy Server Services

このオファリングは、定常状態の稼働における SaaS 環境の健全性および完全性を確実にするための、IBM Cloud UrbanCode Deploy Server に対する必要なパッチの適用および定期的なアップグレードによるマネージド・サービスおよび継続的保守を提供します。

2.2 VPN Secure Tunnel

VPN セキュア・トンネルの継続的保守により、定常状態の稼働におけるネットワークの接続を健全に保ちます。

2.3 IBM Cloud UrbanCode Deploy Connection Services

このオファリングは、定常状態の稼働における SaaS 環境の健全性および完全性を確実にするための、IBM Cloud UrbanCode Deploy Connections (エージェント) に対するマネージド・サービスおよび継続的保守を提供します。サービスでは、Secure VPN Tunnel による、集中化されたシンプルなネットワーク管理も提供します。

2.4 IBM Cloud UrbanCode Deploy Relay

本サービスは、コネクション/エージェントと IBM UrbanCode Deploy サーバー間の接続を調整するために必要な Relay に対するマネージド・サービスおよび継続的保守を提供します。

3. IBM Cloud UrbanCode Deploy セットアップ・サービスのオフライン

3.1 IBM Cloud UrbanCode Deploy Environment Setup

このセットアップは、SaaS 環境に IBM Cloud UrbanCode Deploy Server を最初に導入する際に必要で、ハイブリッド・クラウドのシナリオでの導入自動化を容易にする運用環境を提供します。

3.2 VPN Secure Tunnel Setup

このセットアップ・サービスは、IBM Cloud UrbanCode Deploy SaaS とお客様が選択した環境間の Secure VPN Tunnel のサブスクリプションに加入するすべてのお客様に必要になります。このサービスは、ハイブリッド・クラウドの導入を可能にします。

3.3 IBM Cloud UrbanCode Deploy Relay Setup

お客様が選択した環境における IBM Cloud UrbanCode Deploy Relay の初回のセットアップ、構成、および導入。「コネクション」/エージェントは、IBM UrbanCode Deploy Server と導入されたエンドポイント間の接続を可能にします。Relay は、ファイアウォールまたは VLAN を介した接続を可能にします。

3.4 IBM Cloud UrbanCode Deploy Connection Services Setup

お客様が選択した環境における IBM Cloud UrbanCode Deploy Connections/Agents の初回のセットアップ、構成、および導入。「コネクション」は、IBM Cloud UrbanCode Deploy Server と導入されたエンドポイント間のソフトウェア接続を可能にします。

4. 個人情報および規制コンテンツ

本「IBM SaaS」は、個人情報またはセンシティブ個人情報などの規制対象コンテンツに関する特定のセキュリティ要件に則して設計されているものではありません。お客様は、お客様が「IBM SaaS」に関連して使用するコンテンツのタイプについて、本「IBM SaaS」がお客様のニーズを満たすものかどうか判断する責任を負います。